

はりうす



小樽市立張碓小学校



<教育目標>

- 学習にはげむ子ども
- 礼儀正しい子ども
- 健康な子ども

第9号

令和7年11月27日

口は人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう

小樽市立張碓小学校長 増田 昭雄

11月は、ヒグマの出没に伴う登下校の送迎にご協力をいただき誠にありがとうございました。例年であれば、そろそろヒグマも冬眠に入る時期なのですが、今だ各地でヒグマの目撃情報等が続くなど、気を緩めることができない日々が続いています。万が一に備え、子どもたちにはヒグマに出会ってしまった時の防御姿勢等を教え、茂みの中など見通しの良くないところは通らないよう指導しています。また、ヒグマだけではなく、これから本格的に雪が降ると、地面が雪に覆われ、通ると危険な箇所も出てきます。子どもたちの安全のため、登下校及び放課後の外出につきまして、ご家庭でも改めて注意喚起をお願いいたします。

さて、話は変わりますが、表題の「口は人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう」という言葉は、元中学校の教師だった腰塚勇人さんによる「五つの誓い」の一つです。

「五つの誓い」

口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう

耳は、人の言葉を最後まで聞いてあげるために使おう

目は、人のよいところを見るために使おう

手足は、人を助けるために使おう

心は、人の痛みがわかるために使おう

(腰塚 勇人)

腰塚勇人さんは、中学校の体育教師でしたが、首の骨を折るスキー事故で命は取り止めたものの全身麻痺になり、一時は「一生寝たきり」と医師に宣告されます。この「五つの誓い」は、絶望の淵にいた腰塚さんが、家族や友人、生徒、医療関係者など多くの人々の支えと励ましによって奇跡的に回復した経験から生まれました。この経験を通じて、「自分の命は自分だけのものではなく、多くの人に支えられて生きていること」に気づき、「周りの人たちへの感謝の気持ち」を大切に、自分の命をどのように使うべきかを深く考えた結果、教育現場に復帰する際に立てたのが、この「五つの誓い」です。

これらの誓いは、事故による絶望から立ち直り、周囲の人々の支えと励ましによって奇跡的な回復を遂げた腰塚さんの、命に対する深い感謝と思いが込められています。

11月から12月にかけて、小樽市では、『いじめをしない させない みのがさない ゆるさない』をテーマに、いじめ防止キャンペーンが行われています。

ぜひ、子どもたちにもこの「5つの誓い」を心にとめて行動することで、誰に対してもやさしい気持ちで接することのできる思いやりのある人になってほしいと思います。

子どもたちのがんばりに大きな拍手を送ります

「第11回小樽子どもの詩コンクール」～金賞受賞！

小樽市内の小中学生が取り組んだ「第11回小樽子どもの詩コンクール」において、本校6年生の詩が高学年の部で見事金賞に輝きました。

10月18日（土）に表彰式が行われ、表彰状が手渡されました。今当たり前にできていることは、実はそうではないという内容の「あたり前」という題名の詩です。

金賞受賞、おめでとうございます！



「第11回小樽音読カップ」～金賞受賞！

11月8日（土）小樽市民会館にて行われた「第11回小樽音読カップ」に出場した、本校3年生が中学年の部で見事金賞に輝きました。

この音読カップは、市内各小中学校から代表の児童生徒が参加し、日頃の音読学習の成果を発表する場として行われています。物語文「まいごのかぎ」を音読し、バランスの取れた音読の技術と表現が評価されました。

金賞受賞、おめでとうございます！



小樽市総合博物館作品展～入選！

「令和7年度 小樽市総合博物館自由研究作品展」において、本校4年生の作品が入選しました。木のぬくもりや柔らかさが伝わってくるような「木のお皿」を作り、出品しました。

入選、おめでとうございます！

張碓小学校公開研究会

11月14日（金）に市内小中学校の先生方が多数参加する中、公開研究会を行いました。今年度は、2年生と3・4年生の学級が授業を公開し、子どもたちが意欲的に学習に取り組む様子やクロームブックを活用した場面を見ていただきました。

授業後は研究協議を行い、参加した先生方から、今後の授業改善につながる貴重なご意見をいただきました。



小樽市消防署銭函支署で学ぶ

11月20日（木）に3・4年生の子どもたちが小樽消防署銭函支署へ行き、地域の安全を守る消防署の仕事について学んできました。消防署の方の説明を聞いて、どのように火事からまちを守っているのか理解を深めるとともに、実際に消火体験をしたり、防火服の着衣体験をしたりするなど教室の学習だけでは学ぶことのできない貴重な体験をすることができました。



ヒグマの目撃情報へのご対応 ありがとうございます

保護者の皆様には、ヒグマの目撃情報に対する学校の対応にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。今後も子どもたちの安全確保を最優先し、対応してまいります。また、保護者の皆様へ迅速な情報提供に努めていきます。

学校では、子どもたちに、次のことを話しています。

- 目撃情報のあった場所へ近づかない。
 - 一人での外出をできるだけ控える。
 - 見通しの悪い場所をできるだけ通らない。
- これらに加えて、
- もし、ヒグマに遭遇したら、目をそらさないで、少しずつ後ずさりをする。
 - もし、ヒグマが襲ってきたら、首の後ろに手を回し、頭を守る。

ご家庭でも折に触れて話題にしていいただければと思います。

「赤い羽根共同募金」へのご協力ありがとうございます

11月18日～21日の4日間にわたり、児童会の呼びかけで「赤い羽根共同募金」を行いました。毎朝、児童会三役が元気に声を掛けながら募金箱を持ち、全校児童に協力を呼びかける姿が見られました。

「赤い羽根共同募金」は、地域の高齢者や子どもたちなど、助けが必要な人たちの支援に役立てられます。また、災害時には災害ボランティアセンターの運営にも活用されます。

今回の取組を通して、子どもたちは募金とは何のためにあるのかを考える貴重な機会となりました。募金にご協力いただき、ありがとうございました。

